

マスコット投票通信

Vol.5

京都府 京都市立 祥栄小学校

学校紹介

本校は、京都市の南区に位置し、現在395名の児童が在籍しています。校区は、かつては田畑が広がる近郊農業地域でしたが、幹線道路の発達とともに住宅建設が進み、現在は、商工業用地・宅地・農業用地が入り組んでいます。昭和57年の開校以来、地域との結びつきを大切にしながら教育活動を推進しています。

昨年度と今年度、京都市教育委員会から「オリンピック・パラリンピック教育モデル推進事業」の推進校に指定され、車椅子バスケットボールチーム『京都アップス』の方にゲストティーチャーとして来ていただきました。車いす体験を通じて、誰もが生き生きとし、共に生きる社会について考えることができました。

学校教育目標である「温かな人間関係の中で、ともに高まり合える子どもの育成」の具現化に向けて、様々な取組を行っています。

授業の流れ

- 【第1時】
- 導入10分 過去のオリンピック・パラリンピックのマスコットを見て、興味・関心をもつ。
- 展開20分 オリンピック・パラリンピックの理念や価値を知る。
- まとめ15分 マスコット投票の視点について話し合う。
- 【第2時】
- 導入5分 クラスで1つのマスコット案に決めることを知る。
- 展開30分
- ・マスコット案について、それぞれの視点にそってどのマスコットに投票するかを考える。
 - ・グループごとにディスカッションする。
 - ・グループ交流の投票結果をもとにした全体交流を通して、それぞれの意見を交流する。
 - ・各自1票の投票を行い、マスコットを1つ選ぶ。
- まとめ10分 マスコットの選定に関わったこと感想を出し合う。

投票の様子



グループディスカッション



全体交流

児童からの感想

- ・オリンピック・パラリンピックの意義が分かった。
- ・マスコットを決めることがとても楽しかった。
- ・それぞれのマスコットに魅力があり決めるのが難しかった。
- ・自分たちもオリンピック・パラリンピックに参加している感じがした。
- ・選ばれたマスコットが選手や色々な人に笑顔や勇気を与えてほしい。

先生方からの感想

意見交流を終えた後にクラスで選ばれたマスコットは、意見交流する前に票が集まったマスコットから変わりました。子どもたちが真剣に考えた結果だと感じています。自分たちがマスコット投票に参加したことで、自国で開かれる東京2020オリンピック・パラリンピックに関心が高まり、大会を盛り上げ楽しむとともに平和であることの大切さや素晴らしさを感じてほしいと願っています。

マスコット投票時に活用した教材等

スポーツ庁指導参考資料
国際パラリンピック委員会（IPC）公認教材「I'mPOSSIBLE」
東京2020組織委員会から提供された教材